

腰痛症(ぎっくり腰)

患者様情報

来院されるまでの症状

- ・初診は2015年、ランニングが趣味でトレーニングを続けていたら腰から下肢が痺れるようになったそうです。整形外科で坐骨神経痛の診断を受け、治療を開始したものの改善が見られなかったため、友人の紹介で秀鳳に来院されました。
- ・坐骨神経痛が改善されてからは、ぎっくり腰や寝違え等の、急性症状で度々来院されるようになりました。
- ・今回は特になにもしていないのに、腰がだんだんと痛くなり、座った状態から立ち上がる際に強い痛みを感じるタイプのぎっくり腰になったそうです。「秀鳳に来ればなんとかなる。」と、言っていたで嬉しい反面、プレッシャーを感じながら治療に臨みました。

患者様	40代
初診	2015年7月
既往症	坐骨神経痛
他の症状	肩こり、首こり、腰痛、冷え性

四診と経過

■ 診療（診断と施術）

- ・今回のぎっくり腰は、お正月休みの際、身体を動かさなかったことと、暴飲暴食で内臓が疲れたことがきっかけになり、いつのまにかぎっくり腰になったのではないかと診立てました。
- ・足先の冷えが強く、腰回りの肌の色もワントーン他より暗く見えました。
- ・左の「腰椎4、5の間」「仙腸関節」に反応があり浅めに鍼を施しました。足の冷えも強かったので「三陰交」に優しいお灸をしました。



■ 初診後の経過

- ・治療後、起き上がる動きがスムーズになり「かなり楽になった。」とおっしゃっていましたが、足の冷えが取れていないのが気になったので次の日も来院していただき、治療を終了しました。
- ・この患者様は、急性症状で来院されることが多いので、寒暖差が激しく、身体に影響を起こしやすい季節の変わり目で来院いただくと怪我のリスクが減りますよ、とアドバイスいたしました。

■ ひとこと添えさせていただきます

- ・ぎっくり腰は一般的には原因不明の疾患と言われています。今回のように、内臓疲労からくるケースや、筋疲労からくるもの、ヘルニアやすべり症がきっかけでなることもあります。
- ・どのタイプのぎっくり腰にも鍼と灸は有効とされています。
- ・特に今回のような、身体の中から生命力が低下した際のぎっくり腰は、刺激の少ない治療が良く効きます。

使用した主要なツボ

- ①腰椎4、5間
- ②仙腸関節（センチョウカンセツ）
- ③三陰交（サンインコウ）